

平成 24 年 3 月 12 日

各 位

社団法人 全日本病院協会
会 長 西 澤 寛 俊
医 療 従 事 者 委 員 会
委 員 長 大 橋 正 實

平成 24 年度「第 11 回病院事務長研修コース」の開催について

平素より全日本病院協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

東日本大震災により被災された方へ心からお見舞い申し上げますとともに、当協会として被災地の復興に向けて、最大限の支援を行う所存でございます。

さて、この度当協会医療従事者委員会では今年度に引き続き、病院事務長研修コースを開催する運びとなりました。

当研修は病院事務長を対象として毎年開催しており、今回の開催で第 11 回目を迎えます。カリキュラムは、医療行政の動向や医療会計制度、院内コミュニケーション、定員管理と業務再設計、経営計画策定など多岐に亘り、約 8 ヶ月（月 1 単位、全 8 単位）をかけて研修を行い、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

また受講生には、当研修を通じて習得した成果を最大限に活用し、上司の皆様とのコミュニケーションの一助とする為に、3 回程度、受講生から上司の方に対する受講報告を予定しております。上司の方におかれましては、お手数をお掛けしますが、受講生に対するコメントの記載をお願いしております。

尚、詳細につきましては、今回同封いたしますパンフレットをご高覧いただき、是非ともご参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加をご希望の方は、**4 月 18 日（水）まで**に F A X にて参加申込書をご送付ください。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

<p><お問い合わせ先> 社団法人全日本病院協会 事務局 病院事務長研修コース担当 〒101-8378 東京都千代田区三崎町 3-7-12 清話会ビル 7 階 TEL 03-3234-5165 FAX 03-3237-9366 ホームページ http://www.ajha.or.jp/</p>
--

第11回 病院事務長研修コース 参加のお勧め (病院管理士認定)

社団法人 全日本病院協会

会 長 西澤寛俊

日頃より全日本病院協会の活動にご協力ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

当協会は、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行う事を目的に活動しております。各医療機関においては、安全で質の高い、安心できる医療の提供が望まれ、病院経営の一翼を担うべき事務長職への役割期待はますます強まってきております。

このような状況下において事務長には、必要な基本知識はもとより、情報や質の管理にいたる幅広い分野にわたっての見識とマネジメントスキルが求められ、これからの厳しい医療の生き残りをかけた経営改革を提起し、経営計画を策定する能力を高めていくことが期待されております。

今年で第11回を迎える本研修のカリキュラムは、病院経営に必要な基本知識から、医療会計制度の現状、事務長として必要なコーチングとファシリテーションの基礎と応用、院内業務の再設計、経営改革計画の策定など、事務長職に必要とされる幅広い分野を網羅しており、より一貫性をもたせたカリキュラムに更新いたしました。

本研修では、職能練磨のための講義・演習等を行い、全受講生が「自院の経営計画」を策定します。さらに、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

各病院におかれましては、すでに事務長の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために、皆様からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。



社団法人 全日本病院協会

全日本病院協会 医療従事者委員会
日本能率協会コンサルティング



第11回 (平成24年度) 病院事務長研修コース (病院管理士認定)

受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

受講要件

- 受講者は現在所属している施設での職歴1年以上の病院事務長、またはこれに準ずる職歴2年以上の経験を有する方で、理事長・院長が適格と認めた方であること(各施設1名)。
- 受講者は研修会において自院の経営健全化計画を作成する為、自院の経営指標や財務諸表及び経営情報を研修会内において開示が可能であり、理事長・院長に経営戦略を提言できること。

開講期間/平成24年5月～平成25年1月
全8単位、各単位2～3日間、1日目13時～最終日15時まで、宿泊研修

受講料金/全日本病院協会 会員施設職員 1ヵ年・全8単位 500,000円
全日本病院協会 非会員施設職員 1ヵ年・全8単位 600,000円
※宿泊費・一部の食事代を含みます。

病院管理士認定について/
本研修では、以下の要件を満たした方を病院管理士として認定いたしております。
○評価試験に合格すること。
○全8単位中、7単位以上出席すること。欠席は1単位のみ可としますが、第7単位及び第8単位の受講は必須とします。

受講定員/40名

研修会場及び宿泊施設
ホテルヴィラフォンテーヌ汐留
〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2汐留住友ビル内 TEL03-3569-2220
【アクセス】

- 汐留駅(ゆりかもめ)改札を出て右方向へ。歩行者デッキを通り、汐留住友ビル2F入口より徒歩1分
- 汐留駅(都営大江戸線)ゆりかもめ汐留駅方面の改札を出て10番出口方向へ進み、汐留住友ビル地下入口より徒歩1分
- 新橋駅(JR、銀座線、都営浅草線)汐留口より出て、シオサイト方向(地下1階)へ進み、大江戸線汐留駅10番出口方向へ徒歩6分

申込締切/平成24年4月18日(水) ※定員に達し次第、受付を終了させていただく場合がございます。



社団法人 全日本病院協会

評価試験合格者には、全日本病院協会が『病院管理士』の認定証を発行

事務長基本講座

第1単位

平成24年5月12日・13日
(2日間)

【講師】

慶應義塾大学医学部
池上直己
日本能率協会コンサルティング
萩原正英

■これからの病院経営と事務長の役割

医療行政の動向を踏まえ、病院経営管理者としての事務長の果たすべき役割を認識します。また、事務長としての役割を全うするために必要な論理的思考法を学びます。加えて、各事務長間の交流を深め、相互研鑽を図ります。

■内容：医療制度改革と病院の対応方向、事務長に求められる役割と能力、よい事務長の条件、問題解決の思考プロセス、病院経営実態調査結果に基づく現状の問題点、マネジメント課題 他

第2単位

平成24年6月9日・10日
(2日間)

【講師】

日本能率協会コンサルティング
飯田真吾

■病院における財務会計と管理会計

病院経営の基礎となる医療会計制度の基本を学びます。事務長に求められる財務の基本を学び、財務的センスを、演習を通じて習得します。制度会計の分析を通じて病院の問題点の抽出と改善検討を行います。

■内容：医療会計制度の現状と特徴、勘定科目の立て方についての留意点、月次決算と試算表の作成、キャッシュフロー会計、資金繰り表の作成などの制度会計、診療科別収支計算 他

第3単位

平成24年7月13日・14日・15日
(3日間)

【講師】

日本能率協会コンサルティング
萩原正英
齋藤正宏

■人事労務管理の基本と実践

病院施設の最適な人事および労務管理に関する基本的な考え方や手法を習得します。あわせて人事諸制度の全体構造と機能の関連、組織管理の上で必要な職能や人材区分、今後のあるべき給与体系を理解します。

■内容：経営と人事管理、人事戦略の立て方、人事制度の構造と機能、人材区分と昇進昇格、給与の機能と仕組み、人事評価、人材教育と育成、要員管理、労務環境管理のポイント 他

【講師】

日本能率協会コンサルティング
田中 信

■院内コミュニケーション強化に向けたコーチング

院内コミュニケーションの円滑化と職場の活性化に向け、事務長として必要な『コーチングとファシリテーションの基礎と応用』について、演習を中心に習得します。縦割り組織の中での有効なコミュニケーションのスキルを身につけます。

■内容：マネージャーに求められる人間関係構築スキル、聴き方、コミュニケーション、職員の動機づけと職場活性化、コーチングの基礎・応用、会議設計とファシリテーション 他

第4単位

平成24年8月11日・12日
(2日間)

【講師】

日本能率協会コンサルティング
田村健二
平林晃一

■定員管理と業務再設計①

業務分析によって部署別の要員を算定する手法を学び、適正な人員で院内の業務を遂行できるようにする。また、業務の効率化や患者の待ち時間短縮、在院期間短縮、物品などの適正在庫量の算定とその維持管理の方法なども学びます。

■内容：タイムスタディー、ワークサンプリング、M-Mチャート分析、業務フロー分析、物品の定期不定量発注方式と不定期定量発注方式、日別負荷分析、時間別負荷分析 他

第5単位

平成24年9月7日・8日・9日
(3日間)

【講師】

日本能率協会コンサルティング
萩原正英

■事務・管理部門における病院管理機能

事務・管理部門で求められる病院の管理機能について習得します。患者の獲得を目指したマーケティングの基本、就業規則や個人情報管理などの病院法務、予算管理と連動した業績管理、リスク管理や危機管理、病院としての広報について学びます。

■内容：組織設計、組織管理、マーケティング、広報、法務3類型（治療法務・予防法務・戦略法務）、コンプライアンス、就業規則、規程管理、個人情報管理、管理会計、購買管理 他

第6単位

平成24年10月6日・7日・8日
(3日間)

【講師】

日本能率協会コンサルティング
萩原正英
田村健二
平林晃一

■定員管理と業務再設計②

第4単位で学んだ手法を第6単位までに、自院で実際に適用します。自院での分析結果を発表して、分析のポイントに関して講師からコメントを得ます。また、患者満足度や職員満足度の調査方法の基本や効率化に際しての情報システム導入のポイントも学びます。

■内容：目的に応じた分析手法の選定方法、分析手法別の分析時のポイント、分析結果のアウトプットの整理方法、患者満足度調査、職員満足度調査、情報システム導入のポイント 他

第7単位

平成24年11月3日・4日
(2日間)

【講師】

日本能率協会コンサルティング
萩原正英

※第7単位では、第2単位から第6単位までの内容に関する総合テストを行います

第8単位

平成25年1月19日・20日
(2日間)

【講師】

慶應義塾大学医学部
池上直己
日本能率協会コンサルティング
萩原正英

病院経営改革計画策定実習

■病院改革の基本的考え方

病院経営改革の基本構成とその策定方法を学びます。昨年までの事務長研修受講者の経営改革計画の事例を見て、これから策定する病院改革計画の全体像を把握します。次回の第5単位に向けて、自院の将来像を構想します。

■病院の将来構想と環境分析

自院の現在の状態を踏まえた上で、自院の将来におけるありたい姿を構想します。また、病院を取り巻く外部環境の分析や自院の内部環境の分析を行います。内部環境の分析においては、病院機能と経営資源、組織風土の3側面から分析を行います。

■課題設定

事務長基本講座の学習を通じて認識した課題や病院経営改革計画策定実習の分析を通じて認識した課題を体系的に整理する方法を学びます。課題を整理するときに有効なロジカルシンキングの思考法についてもトレーニングを行います。

■改革計画の作成方法とプレゼンテーション

経営改革計画策定実習で整理してきた病院の将来像や環境認識、課題の体系をもとに、自院の経営改革計画に取りまとめる方法を学びます。また、策定した改革計画を自院で発表するときに求められるプレゼンテーションの方法についても学びます。

■各院の経営改革計画発表会

受講者全員が自院の経営改革計画を作成して、その改革計画をグループ内で相互に発表しあいます。グループ発表の中で、代表者を選定します。各グループの代表者は、最終日に、受講者全員の前で改革計画を発表して、池上教授や講師からのコメントを得ることができます。





医療法人社団三愛会
三船病院
北村 直幹

人生の財産を得た貴重な一年

研修受講にあたり、期待と不安の入り混じった複雑な心境がありました。業界経験の浅い私に本当についていけるのだろうかという不安、反面様々な知識や情報を修得したいという期待。心の整理がつかないまま研修初日を迎えました。

最初はついていくのがやっとといった感じでしたが、徐々に同期の方々とも打ち解ける事が出来、グループワークや発表の時には貴重な情報の交換や収集が出来たり、参考になる考え方や業務の在り方等病院経営に役立つものを数多く得られました。

あっという間に研修期間は過ぎてしまいましたが、10期生の皆さんとの「つながり」は今後の私の成長に欠かせない大切な財産となりました。今後も良いお付き合いをさせていただければと考えております。

池上教授、JMACの講師の方々、全日病協会事務局の方々、そして第10期生の皆さん、本当に一年間有難うございました。研修で得た経験を自院の経営に役立て、皆さんに素晴らしい報告が出来る様、日々努力していきたいと思っております。



医療法人秀友会
札幌秀友会病院
中村 良

病院事務長研修に参加して

今回、事務長研修を受講することが決まり病院経営に関する事を学べる期待と経営に関する知識の無い私が研修についていけるのかという不安の中参加しました。

医事の経験しかない私にとって、研修のカリキュラムである「財務分析」、「人事管理」、「業務の見直し」、「委託費削減」など様々な専門分野の学習。「病院経営計画」策定においては「ありがたい姿の構想」、「外部・内部環境分析」、「中長期プランの作成」、「課題の抽出」等、様々な手法を学ぶ事が出来、病院経営に関する様々な知識を吸収出来たと同時に自分の見識の狭さ、レベルの低さを実感させられました。

また、研修には全国の病院から病院の経営に関わる方々が参加し、そのメンバー達との出会いも大きな収穫でした。グループワークでは色々な立場のメンバーから様々な意見が出て活発な討議が出来たこと、問題、課題解決等の情報を共有、貴重なアドバイス等をいただき第8単位まで進めました。

事務長研修がなければ会うことのなかったメンバー達とのネットワークが出来た事は私にとってとても貴重な財産となりました。

今後、研修によって得た知識を活かして病院経営の一翼を担っていきたく思います。



特定医療法人朋友会
石金病院
三好 義弘

「こうありがたい」という動機の大切さ

病院管理経験の浅い小職にとってこの研修会は、病院全体の業務構成や将来展望を俯瞰的に学べ、また全国に理解しあえる良き仲間を得たまたとない機会でした。

研修は講義とグループワークがバランスよく組込まれていました。

自院の過去から現在までの状況を再認識できる「環境分析」、将来展望について理事長と院長にその考えを聴く機会が得られた「ありがたい姿構想」。そして講義を踏まえてのグループワークや演習では、多角的な視点を得ることができました。各論の詳細は同期生と酒を酌み交わすことでより深く学べ、研修中に同期生の病院を個人的に見学する機会もあり、より一層の学びを得ました。

研修最終日に行われる意見交換会では、講習生から講義の進め方等について聴取する池上教授・講師陣は真剣そのものであり、次回はより一層よい研修を提案したい、という意気込みが感じ取れました。

そして何よりも、各単位課題を達成するなかで「当院がこうありがたい」というビジョンを持ち続けることが大切であることを学び、このスタンスは病院改革を進める事務長の重要な要素だと教えていただいていると感じました。

今後は研修で得た知的財産と人的財産を大切に病院業務に取り組んでゆきたいと思っております。



医療法人社団白美会
白根大通病院
村川 宏

64歳、一歩前進

事務長としてのキャリアはもちろん、医療業界での勤務そのものが短い私にとってこの研修会に参加できた事は又とない幸いでした。

正直なところ、研修が始まったばかりの頃は、何処の病院でも日々起っている様々な問題の解決に役立つ、具体的な手法を教えて欲しいと思っていました。

でも研修が進むにつれて、病院をマネジメントする基礎知識と応用力を養ってもらっていることが理解できて、毎回楽しく学ぶ事ができました。

とは言っても、64歳の私自身は研修に付いていくのがやっとの劣等生でしたが、そんな私を10期生の若い仲間たちが応援し支えてくれました。

仲間にも励まされて最終課題の「自院の経営健全化計画」を発表し終えた時に、大きな達成感と多くの仲間を得た喜びとが実感できました。

素晴らしい講師陣と、素晴らしい仲間達との出会いに感謝して一歩前進してみようと思っています。